

けいはんなで大阪・関西万博を考える会

・取り組み名称

EXPO2025時空を超えるけいはんな ～グローバルズムとローカリズムの融合～

・取り組み概要

未来社会に向けて、全人類規模の脅威（パンデミック、高齢化、資源争奪、貧富格差、差別、気候温暖化等）を念頭に、グローバルズムとローカリズムの融合による“Well Being（幸せ）”や将来世代のために必要な「地球倫理＝地球的公共性」の追求のため、地球の風土に根ざすローカルアイデンティティの再発見と相互の理解が必要です。来る万博においては、未来社会の実験場として、先人の智慧を未来に繋げ、人類課題の解決のヒントを示す為に、本会の下にあり、具体のアイデアを共有し、繋げる機能をもつ「けいはんなプラットフォーム」の活用により、時空を超えてグローバルとローカル、ローカルとローカルが繋がる“ヒューマンライフイノベーション”の姿を実現化していきます。

・未来への宣言

ポストコロナ社会の実現に向けて、最新のテクノロジーとけいはんな学研都市周辺を含む地域固有の歴史・文化・風土の融合による、地球的課題の解決に向けた新たなグローバルズムとローカリズムの融合の実現のためのパイロットモデル都市として持続可能な未来社会のデザインに貢献していきます。

・提供できるリソース

| リソース | 内容 |
|---------|----------------------------|
| ネットワーク | けいはんな学研都市内及びその周辺域の研究機関等 |
| 情報発信・PR | PR ツール（情報誌、HP 等） |
| フィールド | 既存の市民・立地機関交流イベント等（出展や講演機会） |

・創出・支援したい共創チャレンジの取り組み

ポストコロナ社会を踏まえ、グローバル化により生じる中央集権化や人・物の移動の拡大により発生するデメリット（人口集中によるパンデミックやエネルギーロス他）を、グローバル社会とローカル社会の両立により克服するため並びにけいはんな学研都市の様々なステークホルダー（公的機関、民間企業、市民）及びそれと連携する地区内外の機関による、歴史・文化も含む様々な分野でのアイデアやリソースの実装に向け、例えば

- ・最先端の脳情報科学技術やロボット技術による時空を超える体験すること等により、リスク分散型・循環型社会の実現化を図る取り組み
- ・同時通訳技術による Beyond Borders をコンセプトに世界中の人々が母国語で対話可能となることで、お互いの宗教・哲学や風土・環境の違いによる世界観の違いを相互理解する取り組み
- ・エネルギー循環・CO2 循環等の循環型社会の実現に向けた取り組み
- ・けいはんな学研都市周辺の我が国を代表する歴史的資産や文化的風土と最先端技術との融合体験等の実現化を図る取り組み

等を支援していきます。

・今後取り組みを展開したい地域・方法

けいはんな学研都市及びその周辺域の歴史・文化資源も活かした万博向けプロジェクトの支援

・共創していきたい方々

国（各省庁）、地元公共団体による支援、及びけいはんな学研都市発のアイデアに対して人的リソースや資金提供を頂く企業や団体